

条幅部自由参考

5月25日正午必着

明石春浦先生書



對酒不覺暝
醉起步溪月

落花盈我衣
鳥還人亦稀

(李白)

たそれがれ時は、心もむなく酒が恋しい。浅酌しているといつしか日も暮れ、鳥はねぐらに帰り人影もまれになる。あとは月だけが相手。

森戸春濤書



金蘭之契(易)

朋友相交るの堅きをいう

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

茶烟永日香 (方回)

茶烟永日香し

茶を煮る煙がたち、ひねもす香しい。

青山如故人 江水似美酒 (文点)

青山故人の如く、江水美酒に似たり。
今日重ねて相逢う、酒を把って良友に對す。

故人は昔なじみの友。なつかしい兩岸の青山をながめ、江を渡りつつ舟中で酒を酌みかわす。

早春游望 (杜審言)

早春の遊望 杜審言

獨有宦游人 偏驚物候新

ひとり宦遊の人有りて 偏に驚く 物候の新たなるに

雲霞出海曙 梅柳渡江春

雲霞 海を出でて曙け 梅柳 江を渡って春なり

淑氣催黃鳥 晴光轉綠蘋

淑氣 黃鳥を催し 晴光 緑蘋に転ず

忽聞歌古調 歸思欲沾巾

忽ち古調を歌うを聞き 歸思 巾を沾さんと欲す

新芽立つ 谷間あさけれ 大仏に ゆふさりきたる 眉間の光 (中村 憲吉)

春のくる 道のしるべは み吉野の 山にたなびく 霞なりけり (大中臣能宣)

春がくる、その道の道案内は、吉野山にたなびいている霞であるのだ。

春のくる道のしるべは
み吉野の山にたなびく
霞なりけり

明石幸子書

半紙部規定課題A

5月25日正午必着

誰種邵
平瓜

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月25日正午必着

行書

隸書

明石春浦先生書

誰種邵
平瓜

誰種邵
平瓜

誰種邵
平瓜

誰種邵
平瓜

草書

行草書

美玉を抱きながら（才能を有しながら）、この京城繁華の地で涙にくれる 故郷の山々は、帰り行く道程があまりに遠い
静けさは禅僧の房に傍うてたどよい 奥深さは庶民の家のよう
林に日は暮れて、鳥たちはねぐらの木を争い 庭に春が訪れ、蝶は花を守護するかのよう
東の城門の所には空き地がある 誰がかの邵平に倣って瓜を種えるだろう

下第寓居崇聖寺 許渾

懷玉泣京華

舊山歸路踪

靜依禪客院

幽學野人家

林晚鳥爭樹

園春蝶護花

東門有閑地

誰種邵平瓜

下第して崇聖寺に寓居す

許渾

玉を懷いて 京華に泣く

旧山 歸路踪かなり

静は禅客の院に依り

幽は野人の家を学ぶ

林は晩れて 鳥は樹を争い

園は春にして 蝶は花を護る

東門に閑地有り

誰か邵平の瓜を種えん

不審先世化度云何尊者告
日乃往過去波羅捺國有一仙
山五百辟支佛止住其中時有
弥猴日來供養奉觀儀容諸辟
支佛後盡從去復有五百梵志
續在中止諸梵志等或事日月

不審先世化度云何尊者告
中止諸梵志等或事日月

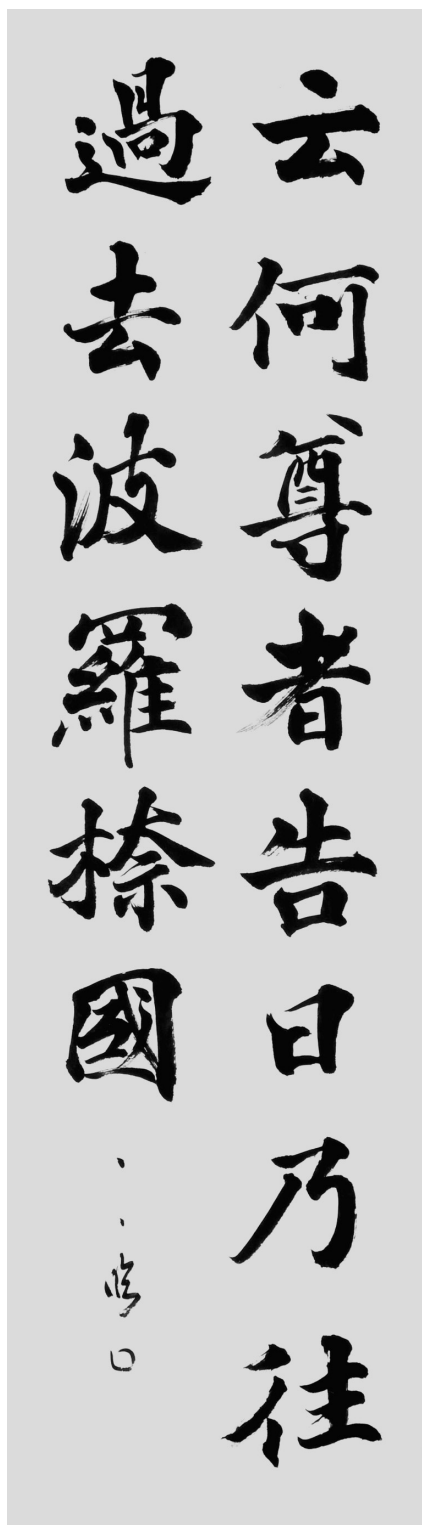
日乃往過去波羅捺國有一仙

山五百辟支佛止住其中時有

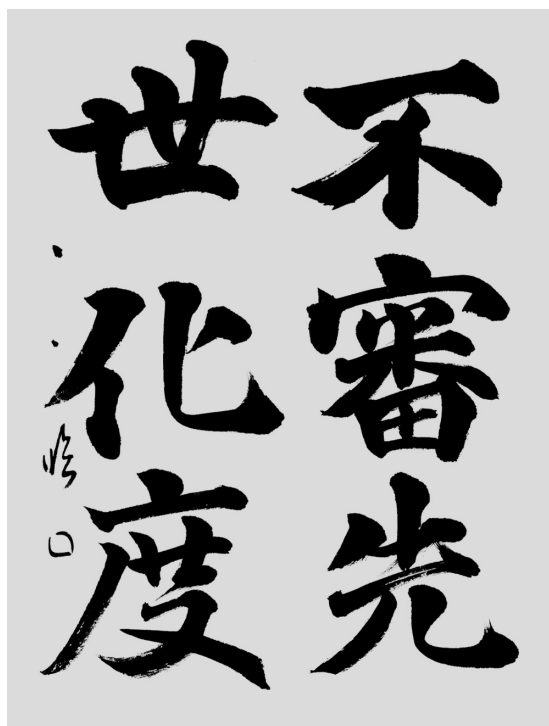
彌猴日來供養奉觀儀容諸辟

支佛後盡從去復有五百梵志

續在



云何尊者告 日乃往過去波羅捺國



不審先世化度

奈良 伝 聖武天皇・大聖武（賢愚經）

古来、聖武天皇（七〇一〜七五八）の筆とされているが定かではないようである。賢者と愚者に関する比喩的な小話69篇を収めた一部13卷からなる経典である。

茶毘紙と呼ばれる香木の粉末をすき込んだ料紙に書かれているが、表面のつぶつぶが、あたかも茶毘に附された骨粉のような感じがするため、信仰的伝説からこのように呼ばれている。

この書は、古筆手鑑の巻頭を飾る名筆として伝えられており、墨量のある重厚で雄渾な筆致で、写経の中でも特に字粒が大きい。端正で気魄に満ちた書きぶりを学びたい。

※古筆手鑑：古人の名跡を切り取って幅に仕立て、帖に貼って鑑賞されるもの。（春濤）

5月25日正午必着

教育部毛筆

老舗

雨宮春聲先生書

し 老 に せ 舗

中学一年

俊英

菅井松雲先生書

しゅん 俊 えい 英

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



榎戸春龍先生書

か
家

おく
屋

小学五年



藤井良泰先生書

けい
軽

かい
快

小学六年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



藤田幸春先生書

まる
丸

た
太

小学三年



細谷春誠先生書

がく
学

せい
生

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明
石
幸
子
書

う で 小学一年・幼年



森
戸
春
濤
書

上 下 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

5月25日正午必着

教育部硬筆

ペン字部

川の底まで見える
清らかな流れです

小学五年

習字の手本を見なが
ら筆を動かした

小学六年

変わらない友情を保ち
続けることは大切です

中学

なだらかな低い山と緑の
草地に囲まれた田舎町

一般(級位)

尋ね来て花に暮せる木の
間より待つとしもなき山の
端の月

尋ね来て花に暮せる木の
間より待つとしもなき山の
端の月(藤原雅経)

一般(段位)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

く	お
	お
こ	ぞ
い	ら
の	
ぼ	た
り	か

幼 年

ぽ	白
つ	い
か	
り	く
う	も
か	が
ふ	

小学一年

い	色
た	と
お	り
花	ど
ば	り
た	に
け	さ

小学二年

月	こ
の	い
空	の
に	ぼ
お	り
よ	が
ぐ	五

小学三年

当	お
て	ふ
て	と
消	ん
ど	を
く	日
し	光
た	に

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

岩本景楓先生書

大海の魂を
よめるは



大海の磯とぎろによする波われてくだけてさけてちるかも
おおのうみ いそとぎろに よするなみ われてくだけてさけてちるかも
 (源実朝)